

「再稼働阻止!」の力は 私たち学生の中にある!

全国学生から9/9~10全学連大会への参加を呼びかけます

東北大学・深谷慎介(理学部)

今こそ私たちの大学を打ち立てよう! 全国の大学で「教育・研究の私物化=民営化」が行われている。大学当局は、大学を「教育投資」や「サービス業」にしてわれわれ学生の主体性を奪った。ヤツラは産学官協同を推進し、学問を産業に切り売りした。いま私たちの目の前



にあるのは、就職予備校(しかも実際には就職できない!)としての、産業の下請け研究所としての大学だ! その典型が原発問題だ! 大学は学生を原発研究に動員し、市民に「安全」を振りまき、研究者を恫喝した。

私は東北大学で研究生をしている。当局いわく、「非正規学生」だそうだ。これも原発問題と無関係ではない。私が大学を批判し原発反対派であるために、ヤツラは私の大学院進学を妨害したらしいのだ。ヤツラは私が「非正規学生」であることを理由に、私の住んでいる学生寮から私を追い出そうとした。けれども、寮生の決起で私は実力居住を勝ち取り、未だに住み続けている。ヤツラは、私の生活まで破壊し大学から追い出そうとしたのだ。

この攻撃に私は動揺した。大学がここまで腐敗していたとは! この攻撃に打ち勝つ方法はあるのか!? 私に、ある友人は「学問とは知力じゃない! 勇気でやるものだ」と喝破し、別の友人は「物理学(私と彼の専攻だ)とは闘うことだ!」と宣言した! 私は思い出した。「universitas」とは、組合すなわち団結のことではないか。私は、学問と大学を奪還する決意を新たにした! われわれの誇りは、やはり大学にやはりあるのだ! 大学という現場にこそ団結があるのだ。

ヤツラは、私から学問・研究を奪おうとしている。思想・信条を理由に政治的攻撃を始めた大学当局は、もはや敵権力そのものだ! これに打ち勝つために、私たち自身が大学の支配権を奪還することが死活的に重要である! 「資本の利潤」のための大学をぶっ壊し、踏みにじられた学生の誇りを回復するために闘おう! 最も重要な攻防は原発だ! 御用学者どもの嘘を許してはならない。大学の素敵なところは、誠実さと率直さだ。御用学者どもは積極的に嘘をつき、金をもうけ、資本の手先になった裏切り者なのだ! 全国の学生のみなさん! 腐敗した大学を打倒し奪還しよう! その第一歩は、学生の組合たる全学連に参集することである。全学連は、あなたを待っています。電力産業解体! 原発爆砕!(しかし安全に<笑>) 全学連大会に結集しよう!

全学連第72回定期大会

- ◆全原発の停止・廃炉!
- ◆「教育の民営化」と対決し、
学生自治会を甦らせよう!

【日時】 9月9日(金)~10日(土)
※9日午前9時半に開会

【会場】 9日: 文京区民センター
(東京都文京区本郷4-15-14)

10日: 浜町区民館
(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

原発再稼働阻止!

9・11

反原発全国一斉アクション

東京・新宿デモ! 14時にアルタ前集合

*全原発停止か、再稼働か。全学連大会の成功から9・11百万人デモの爆発に未来がかかっている。菅の後継政権は、誰であれ「原発推進政権」だ。9月決戦の先頭に学生は立とう!

全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

「原発再稼働—増税—首切り—沖縄新基地建設」の野田新政権をたおそう!

8月30日、菅内閣が原発事故と失業への怒りで打倒された後の新首相に、民主党・野田が選出されました。しかし野田は、これまでの民主党政権の政策をより悪どく進めていこうとしています。何よりも、原発再稼働です。「政府には電力を安定的に供給する責任があります。…当面は再稼働に向けて努力することが最善の策」(『文藝春秋』9月号)などと、放射能汚染に対する「フクシマの怒り」を踏みにじて原発を護持し続けることを宣言しています。しかも、史上最悪の原発事故を引き起こしておきながら、原発の海外輸出は「震災後の日本だからこそできる新しい国際貢献」(同)などと完全に開き直っているのです。

絶対に許せない! さらに、増税、沖縄・辺野古への米軍新基地建設、特区制度や民営化による首切り、社会保障制度の解体など、野田政権と私たちは相容れません。全学連大会—9・11デモの爆発で、野田新政権たおそう!

◆法政大学・1年生

私たち学生こそが大学の主体! 社会の未来を担う存在! 私は全学連大会に参加して、全国から集まる仲間と団結し、原発をなくし、大学と社会を根本から変えたい!

私たちは、入学してからずっと「大学」というものに縛られてきました。単位や就活、奨学金でがんじがらめになり、社会に対して仲間と考える場所すら奪われてきました。法政大学では、大学に抗議する学生が退学処分にされるということまで起きています。これが今の「大学」の実態だったのです。

私たちは、いつまでも大学に媚びを売らなければならないような存在なのではないでしょうか? 「就職に響くかもしれない」と不安を抱えながら、おかしいことに「おかしい」とも言えない。これが私たちの人生でしょうか? 絶対に違います!

この社会や大学のあり方に対し、学生こそが先頭に立って声をあげ行動する時です。学生や青年の未来を切り捨て、「偉い人」だけが生き残ろうとするあり方は、一人一人が結集し、大きな勢力となった時に必ず変えられます。社会を変えるためにあなたの力、決起が必要です! だから私は、9月9~10日の全学連大会への参加を訴えます。学生の力を取り戻し、ともに発揮しよう!

◆首都圏A大学・学生

私は3月11日の地震が起きるまで、いたって普通の学生でした。もちろん、社会問題にはまったくと言っていいほど興味がありませんでした。でも、地震が起きて原発が爆発して放射能の危険性を知りました。放射能は目に見えず匂いもしない、しかし地球に存在するあらゆる生物に差別なく影響を及ぼす。じゃあ、どうやって生きていくか。それは、政治家や役人の人たちだけが議論する問題ではない。国民全員が考えて動き出さなくてはいけない。

あの大地震が起きてから半年。だいぶ日本は落ち着いたかのように思える。でも、私にはそうは思えない。今、国は私たちの知らない間におかしな方向に動いてしまっている気がします。それは今まで、「国のことは政治家に任せておけばいい」という考えが国民の中で多かったからだと思う。今までは、みんなが勝手気ままに生きていればいいと思っていた。けど、今回ばかりは事の重さが違う。今、私たちは命の危険にさらされているんです。本当

です。「ただちに影響はないです」って言われて、確かに今は影響がないように思える。しかし、事実、多くの人が被ばくしている。次の世代にこんな世界を託したくない。将来の自分の子どもに「誰がこんな世の中にしたの?」と聞かれて、「政治家だよ」なんて無責任なことは言いたくない。自分たちのことは自分たちで考えるのは当たり前だと思います。別に、みんなに動けとは言いたくない。今の世の中、動く時間のない人が多いのが現状。でも、まずは考えることから、自分の隣の人に話してみることから始めたら良いと思います。特に、若い人には考えてほしい。少しずつ。みんなの少しずつが何か大きなものになると信じています!!! 全学連大会をそのステップに!!

◆関西B大学・1年生

3月11日の大震災は、学生に広く政治や経済を意識させるものとして、また学生のとるべき立場を問うものであったと思います。そうした中で僕は、腐敗した大学を変えるという立場をもって来た全学連大会に参加します。ともに、これからの大学や社会のあり方を議論しましょう。

◆東北大学・1年生

みなさんも、全学連大会に参加しよう(^-^)/ 学生自治会や全学連に対する疑念とか、そんなものはとりあえず忘れて(笑)。思いきって、世の中の諸問題、というかぶっちゃけ原発問題について、全国の仲間たちとともに考えてみませんか?

◆神奈川C大学・2年生

全国のみなさん! 全学連大会への結集を心から呼びかけます。今の大学は原発事故に対し、ひたすら学生の行動を抑圧するばかり。そして政府のペテン的な事故対応にも僕は憤りを感じています。「国難」を叫んで節電を煽り、「原発がないと日本が終わる」みたいにメディアや政府が言い、原発問題より「単位取れ、授業出ろ」。「学生は黙って専門家の意見に従え、学校に従え」と、もはや善悪すら僕たちに決めることも考えることもさせない、「こんな大学何なんだ?」と思うんですよ!

「未来を担う」とか入学するまでの広告では言っついて、入ったら自分で考えることもさせない。これから、この原発被害を受けたこの国で生きていくのは学生なのに! 本気になって考えなきゃいけない、いやもう行動にまで移さなきゃいけないところまで来ていると僕は思っています。だから、みんな全学連大会に参加して、9月11日の反原発デモにたとう!

◆首都圏D大学・学生

みなさん、こんにちは。原発問題をはじめに、いま資本主義社会が大きく揺らいでいます。これは、「資本家を撃滅するチャンスである」と僕は捉えています。だからこそ、学生は団結して決起し、あの憎たらしい資本家や腐敗した国家の犬どもを葬り去ろう!!

